

NPO 法人太陽光発電所ネットワーク山口地域交流会
代表世話人 溝田忠人

2012 年度、PV-Net 山口地域交流会（略称 PVNY）は、宇部市地球温暖化対策ネットワークの支援により、下記の 4 イベントに参加し、A 及び B の環境教育活動を実施した。

A：一般市民への太陽光発電の普及・啓発を目的としたパネル展示など

B：児童の自然エネルギーへの啓発を目的とした自転車発電体験及びソーラーカー工作教室の開催

活動の概要

1) 山口宇部空港「HAPPY AIR PORT 親子で夏休み!集まれ KID's」(8月18日(土)13:30~16:00
国内線ターミナル出発ビル2階ロビー)

A：太陽光発電の原理を紹介

B：・空港でのイベントということで、自転車発電で飛行塔を動かす装置を製作し、発電が身近なものであることを子供達に遊びながら体験させた。

・子供の太陽光発電への関心を高めるため、玩具のソーラーカーの工作教室を企画した。

2011 年製作のソーラーカー(3号機)キット(ソーラーパネル(1V, 380mA)とマブチモーターを装備したプラスチック段ボールとボール紙、竹串などを用いたキット)により、指導員(ボランティア)の手助けにより全員に組み立ててもらった。

会場は予想以上の人出で、準備したキット 15 台は開始早々に売切れ、展示用の 2 台も売切れる盛況であった。

・キット代として材料費(約 1,000 円)の一部 200 円の個人負担をお願いし、3,400 円の収入があった。

・このイベントが初めてだったこと及び参加を決めて期間が短かったことなどから準備台数が少なかったため、後から来た子供達にまで提供することができず、子供にがっかりさせたことが反省点である。

写真 1 に活動の様子を示す。

2) 宇部まつり(11月4日(日)11:00~15:30 西日本シティ銀行駐車場エコ広場)

A：太陽光発電関連のパネル展示により、太陽光発電の原理とメリット、グリーン電力証書、NPO 法人太陽光発電所ネットワークの活動紹介を行った。

B：・玩具のソーラーカーの工作教室

・今回(4号機)はソーラーパネル(1V, 380mA)とマブチモーターを装備した、プラスチック段ボールとボード、竹串などを用いた4輪のキットを準備した。(添付、ソーラーカー4号機の写真と図面を参照)

・材料費は、ソーラーパネル、マブチモーター、プラスチック段ボール、ボール紙の他、接着剤、テープ、塗料など総計1台当たり約800円必要であったので、1台当たり200円の個人負担をお願いした。工作に参加した児童、幼児は19名で、3,800円の収入があった。尚、キットの準備・作製は全てボランティアによって行った。

・当日は、まずまずの天候でまつりは大盛況ではあったが、残念ながら当ブースの方は盛況とはいえない状況であった。参加した子供達は指導員と一緒に一所懸命にキットを組み立て、出来上がったソーラーカーが動いた時はどの子供も大喜びであった。写真2に活動の様子を示す。

- 3) うべマーケット (11月10日(土) 10:00~15:00 ルナーレ前三角広場隣接地)
- ・第1回うべマーケットにソーラーカーの工作教室(ソーラーカー4号機)を企画し参加した。
 - ・周南地区からボランティアの応援もあり、張り切って参加したが、天気も悪く来場者(特に子供)が少なく残念だった。しかし、ソーラーカーは参加者に好評であった。写真3に活動の様子を示す。
 - ・参加者には、材料費の一部200円の自己負担をお願いし、2200円(11台)の収入があった。

4) エコフェア 2012 in UBE (11月18日(日) 10:00~16:00 ときわ公園彫刻野外展示場)

A: 太陽光発電関連のパネル展示(宇部まつりと同じ)

B: ソーラーカーの工作教室(宇部まつりと同じソーラーカー4号機)

- ・子供達に製作指導をしながら一緒にキットを組み立てた。
- ・当日は好天に恵まれブースの前の広場はソーラーカーで遊ぶ子供達で賑わった。写真4に活動の様子を示す。
- ・材料費は、約800円かかったので、宇部まつりと同様に1台当たり200円の自己負担をお願いした。当日は、35台の作製が行われ7,000円の収入があった。

◆チャレンジ宣言: 全出展者のチャレンジ宣言において、PVNYとして太陽光発電の普及に尽力する意気込みで「宇部市の全屋根にソーラー発電を」と宣言した。



写真1: 山口宇部空港



写真2: 宇部まつり



写真3: 宇部マーケット



写真4: エコフェア

以上



ミニソーラーカー4号機